



かごしま

市民のひろば

2011年(平成23年) 第535号

人とみどりが
輝くまち
かごしま



市の人口(推計)

平成23年11月1日現在(前月比)

| | | |
|------|-----------|---------|
| 人口総数 | 608,219人 | (+ 264) |
| 男 | 282,014人 | (+ 134) |
| 女 | 326,205人 | (+ 130) |
| 世帯数 | 269,866世帯 | (+ 220) |

【主な内容】

- 市政総合…………… 2～4
 - ・ 運航スタート ドクターヘリ
 - ・ 年末年始暮らしのカレンダー
- イベント・講座…………… 5～7
 - ・ 年末年始お出掛け情報
 - ・ 第32回ランニング桜島
- 特集…………… 8・9
 - 新幹線・大交流元年
 - 「人とみどりが輝くまち・かごしま」へ加速！市政この1年
- 暮らしのガイド…………… 10～12
 - ・ 家庭の粗大ごみ収集
 - ・ 公園の清掃や歩道の管理をする団体を募集します
- 健康・福祉…………… 12・13
 - ・ 高齢者などのインフルエンザ予防接種
 - ・ 国保の給付が受けられます
- すこやか鹿児島っ子…………… 14・15
 - ・ 子ども手当の申請はお早めに
 - ・ 子育て・知っ得情報

■編集と発行

鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou5@city.kagoshima.lg.jp

市民のひろばは点字版・音声テープ版も発行しています
配布を希望する人は広報課へ

■ホームページ(携帯版同じ)

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■配布に関するお問い合わせ

南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124



薩摩のモダンが観える 礎の異人館

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)は日本初の洋式機械紡績工場である鹿児島紡績所の建設と指導に当たったイギリス人技術者の宿舎として慶応3(1867)年に建設されました。

国内に現存する代表的な初期洋風建築であり、国の重要文化財に指定されています。

イギリス人技師が暮らしていた創建時の室内を再現するなどの整備が行われ、10月25日から一般公開されています。

また、異人館は「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産候補の一つであり、世界遺産登録を目指して取り組んでいます。



また、異人館は「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産候補の一つであり、世界遺産登録を目指して取り組んでいます。

また今年には桜島フェリーや市電・市バスなどの公共交通を生かした新たな魅力づくりと積極的な情報発信に努めました。今後も地域資源にさらに磨きをかけ、個性と魅力にあふれるまちづくりをスピード感をもって進めていきます。

また、厳しい経済・雇用情勢は当面続くと思われ、引き続き最善を尽くしてまいります。来年度は、本市の将来像と今後10年間のまちづくりの基本目標を定めた第五次鹿児島市総合計画の初年度になります。その都市像に掲げた、すべての市民の皆さんが真に豊かさを実感できるまちの実現に向けて、皆さんと協働・連携して全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

この一年、市民の皆さんの市政に対する温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



「新幹線大交流元年」を振り返って

今年ほど深い悲しみと特別な感慨を持って迎えた師走はありません。3月11日に東日本を襲った未曾有の大地震と大津波、そして福島第一原子力発電所事故による影響は、まさに国難というべき状況を生み出し、危機管理と防災のあり方について日本全体へ大きな課題を投げ掛けるとともに、あらためて人との絆や地域の支え合いの大切さを問い掛けました。そして翌12日は、40年来私たちが待望した、九州新幹線全線開業という、本市にとつて歴史的な日でした。鹿児島から青森までが一本の高速鉄道で結ばれた、まさに希望に満ちた「新幹線大交流時代」の幕開けを告げる日となりました。

本号の特集では、今年一年の市政の動きや取り組みを紹介しています。当初、東日本大震災による影響があったものの、新幹線の全線開業効果を最大限に生かすことを目指し、本年度に予定している事業や施策は着実に実施できており、総じて市政は順調に推移していると考えています。

特に今年には震災の発生で安全神話が揺らぎ、災害防止対策が最大の行政課題となりました。桜島を抱える本市では他都市にない噴火や降灰対策をはじめ風水害対策に万全を尽くすことが必要です。引き続き市民総ぐるみで安心安全なまちづくりに取り組んでまいります。

また今年には桜島フェリーや市電・市バスなどの公共交通を生かした新たな魅力づくりと積極的な情報発信に努めました。今後も地域資源にさらに磨きをかけ、個性と魅力にあふれるまちづくりをスピード感をもって進めていきます。

市民とともに



鹿児島市長
森 博幸

森 博幸

(大切なものは保存しておきましょう)

